

## 【EMD.GR.JP 掲載のニュース】

(2005年1月19日～

2005年2月25日分)

### ケンウッド、iPodと直接ケーブルで接続可能なHDDナビを発表

ケンウッドは、専用アダプタなどを使わずに iPod と直接ケーブルで接続できるHDDカーナビゲーションシステム「HDD [Smart] Navii」(HDM-555)を2005年3月中旬に発売すると発表した。

HDM-555は別売のケーブルを介して直接 iPod を接続・制御できるHDDカーナビ。対応する iPod は第3世代以降と iPod mini/photo。

iPodの操作に専用のGUIを搭載。7V型のタッチパネル式液晶モニターから iPod の各種操作が行なえる。再生、停止、早送り、巻き戻しなどの基本操作だけでなく、プレイリスト、アーティスト、アルバム名などでの検索、再生中の楽曲情報の日本語表示なども可能。さらに、接続中の iPod の充電も行なえる。

なお、楽曲の再生は iPod 本体側で行なっており、HDM-555は制御信号の送信と音声信号の受信を担当している。アンブなどは内蔵していないため、HDM-555を別途カーオーディオに接続する必要がある。

価格は220,500円。iPodを接続するためには別途対応ケーブル「KNA-i77」(10,500円)が必要。

(2/25)

### オンキヨー、iPodとAVシステムの連携が可能なアダプタを発表

オンキヨーは、アップルのHDDオーディオプレーヤー「iPod」とオンキヨー製AV機器を連携可能な iPod アダプタ「iPod用RI Dock」を2005年5月より発売すると発表した。

「iPod用RI Dock」は、同社のAV製品でCDやDVD、アンブ、MDデッキなどのシステムをコントロールする「RI (Remote Interactive) システム」端子と接続して、iPodをコントロールできるアダプタ。

RIシステムは過去10年以内に発売したほとんどのオンキヨー製オーディオ製品などに搭載されており、のべ500万台以上の対応機器を出荷しているという。

具体的な製品仕様としては、iPod 充電機能を持った Dock (置き台、ミニスタンド)となる予定。オンキヨーシステムのリモコンによる iPod のプレイ、ストップ、早送り、自動セレクター切り替えなどの操作が可能になり、iPodのサウンドをオンキヨーのシステムで再生することができる。

(2/24)

### Seagate、6GB容量の1インチHDD発表

日本シーゲイトは、容量6GBの1インチHDDを携帯機器向けに出荷していると発表した。すでに2004年12月に出荷開始しているとしている。

従来製品の容量5GBから6GBにアップした製品で、1インチHDDとしては業界最大容量。

振動によるエラーを低減するRunOnテクノロジー、耐衝撃性を高めた「G フォース保護」などを搭載している。

インターフェイスはATAとCF互換の2つが用意される。本体サイズは42.8×36.4×5mm(幅×奥行×高さ)、重量は19g。

(2/24)

### 日立GST、容量6GBの1インチHDD「Microdrive 3K6」発表

日立グローバルストレージテクノロジーズ(日立GST)は、容量6GBの1インチHDD「Microdrive 3K6」シリーズを発表した。

1インチHDDとしては業界最大容量となる製品。同社の従来製品は最大4GBで、50%の容量アップを実現。また、30%の性能向上を達成したという。

容量は6GBモデルと4GBモデルをラインナップ。インターフェイスは従来のCF TypeIIと、機器内蔵用のIDE。インターフェイスの最大速度は33MB/sec。

ディスク回転数は3,600rpm、平均シーク時間(リード)は12ms。記録面密度は従来の4GBモデルの56.5Gbits/inch から、78Gbits/inch に向上している。

内部データ転送速度67~125Mbit/sec。騒音は18dB。耐衝撃性は、動作時200G(2ms)、非動作時2,000G(1ms)。

同社では音楽プレーヤーやデジタルカメラ、デジタルビデオ、PDA向けへの応用を想定している。

米国本社発表の参考価格は、6GBモデルが299ドル、4GBモデルが199ドル。すでに出荷開始されており、2005年2月末には製品が店頭出荷される予定。

(2/24)

### Yahoo!、「Yahoo! ミュージックダウンロード」を開始

ヤフーとレーベルゲートは、ヤフーが展開している音楽総合サイト「Yahoo! ミュージック」において、レーベルゲートの「Mora」による有料音楽配信サービス「Yahoo! ミュージックダウンロード」を2005年2月24日より開始したと発表した。

アーティストや楽曲の検索サービス、音楽関連ニュースの提供などを行っていた「Yahoo! ミュージック」内に新設され、配信プラットフォームをMoraが提供。課金などの処理はYahoo! が担当する。

配信フォーマットはMoraと同様のATRAC3(OMA形式)で、ビットレートは132kbps。CD書き出しの可否やポータブルプレーヤーへの転送回数など楽曲の利用条件についてもMoraに準じる。

参加レーベルはソニー・ミュージックエンタテインメントや東芝EMI、ヤマハ、ワーナーミュージック・ジャパンなど全39レーベルで、約73,000曲を用意。今後、さらに楽曲を追加していく予定としている。

楽曲料金は1曲158円~368円で、購入にはYahoo! JAPAN IDとYahoo!ウォレットの利用登録が必要となる。

パソコン用のプレーヤーソフトとして「MAGIQLIP2」を提供し、ほぼ全ての楽曲が試聴・購入できる。MAGIQLIP2の対応OSはWindows 98 SE/Me/2000/XP。

なお、Yahoo!ミュージックダウンロードのスタートを記念してソニーの20GB HDD搭載ネットワークワークマンが当たるスタートキャンペーンを実施。応募期間は2005年2月24日から同4月15日。

(2/24)

## ジャストシステム、PSP に音楽転送できる「BeatJam」強化キットを発表

ジャストシステムは、OpenMG に対応した WMA/MP3/ATRAC3 総合ソフト「BeatJam」で、携帯ゲーム機「PSP」(プレイステーション・ポータブル)に楽曲の転送が行なえる「BeatJam デジタルオーディオプレーヤー対応強化キット Vol.1」を公開した。

同対応キットを導入することで、音楽 CD からパソコンに取り込んだ ATRAC3 や MP3 形式の音楽データを、BeatJam から PSP に挿入した「メモリースティック Duo」内に転送することができるようになる。

さらに、MP3 形式の音楽ファイルを転送する時にはプレイリストファイル(m3u 形式)を作成して転送することができる。

また、BeatJam に搭載の「ミュージックストアブラウザ」を利用して、レーベルゲートが運営する音楽配信サービス「Mora (モラ)」で購入した楽曲 (ATRAC3 形式)を転送することも可能。

(2/23)

## アップル、薄型化した「iPod photo」30GB モデルを発表

アップルコンピュータは、カラー液晶搭載の HDD オーディオプレーヤー「iPod photo」に薄型化した 30GB モデルを追加。また、60GB モデルの値下げも発表した。

30GB モデルは外形寸法 61.8×16.1×103.5mm (幅×奥行き×高さ)、重量 166g と、60GB モデルの約 61.8×19.1×103.5mm/183g から薄型/軽量化された。

30/60GB モデルとも、従来の iPod photo で同梱されていたクレードル「iPod photo Dock」を別売 (4,500 円)として、低価格化している。

また、新たにオプションとしてデジタルカメラと接続して iPod photo に写真を取り込むことができる「iPod Camera Connector」が用意された。取り込んだ写真は iPod photo で確認できるほか、取り込んだ写真データは、PC や Macintosh に転送できる。

そのほかの仕様は従来の iPod photo とほぼ共通。220×176 ドット/65,536 色表示の 2 インチカラー液晶を採用し、iTunes 上で指定したフォトライブラリや、iPhoto や Photoshop Elements/Album の写真

ライブラリのデータを iPhoto photo に取り込んで、フォトビューワとして利用できる。

再生対応オーディオフォーマットは MP3、AAC、WAV、Apple Lossless と Audible。ビットレートは、AAC が 16~320Kbps/MP3 が 32~320kbps までサポートする。対応 フォトフォーマットは JPEG/BMP/GIF/TIFF/PNG。音楽を再生しながらの写真表示やスライドショー表示なども可能となっている。

充電時間は約 5 時間 (80%まで約 3 時間)。バッテリー駆動時間は約 15 時間。充電は AC アダプタとパソコンの FireWire 経由のほか、USB 2.0 からの充電にも対応する。本体下面に Dock コネクタを備えており、USB 2.0 のケーブルが付属するが、FireWire ケーブル (2,200 円)は別売りとなっている。

音飛び防止機能は最長 17 分間で、周波数特性は 20Hz~20,000Hz。付属のステレオイヤホン、ネオジウム製トランスデューサーマグネットを採用した直径 18mm のドライバを使用し、インピーダンスは 32 Ω。

ヘッドフォンや AC アダプタ、USB 2.0 ケーブル、USB 電源アダプタ、iTunes 4.7.1 などが同梱される。対応 OS は Mac OS X 10.2.8 と Windows 2000/XP。

(2/23)

## アップル、バッテリー駆動 18 時間の新「iPod mini」を発表

アップルコンピュータは、1 インチ HDD 搭載のオーディオプレーヤー「iPod mini」の新モデルを発表、販売を開始した。

新モデルでは従来と同じ 4GB 容量のモデルのほか、6GB に強化したモデルを追加。また、バッテリー駆動時間は従来からの 8 時間から 18 時間へと大幅に向上している。

ボディカラーはシルバー/ブルー/ピンク/グリーンの 4 色で、従来モデルにラインナップされていたゴールドは省かれているほか、各色ともより鮮やかなカラーリングに変更されている。

仕様としては 4GB/6GB モデルとも大きな変更点はなく、外形寸法約 50.8×12.7×91.4mm (幅×厚み×高さ)、重量 102g と従来モデルと同じ。

ただし、従来付属していた AC アダプタ (3,400 円)

や、FireWire ケーブル (2,200 円)をオプションとして別売りにするなどして低価格化している。

音飛び防止機能は最長 25 分間、最大出力は 30mW×2、周波数特性は 20Hz~20,000Hz。付属のステレオイヤホンは、ネオジウム製トランスデューサーマグネットを採用した直径 18mm のドライバを使用し、周波数特性は 20Hz~20,000Hz。

充電は、パソコンの FireWire/USB 経由からも行なえ、充電時間は約 4 時間。1 回の充電で最大 18 時間利用できる。iTunes 4.7.1 やイヤホン、ベルトクリップ、USB 2.0 ケーブルなどが同梱される。

(2/23)

## 日立マクセル、約 20%長持ちの単 3 アルカリ乾電池

日立マクセルは、同社従来品より約 20%の性能向上を果たした単 3 アルカリ乾電池「イプシアルファ」を 2005 年 4 月 1 日より発売すると発表した。

2004 年 4 月に発売された同名製品の改良版。これまで微粒亜鉛粒子のみの組成は難しいとされていた負極材に、世界初となる 200 ミクロン以下の微粒亜鉛粒子「MICROZINC (マイクロジンク)」を 100% 使用することで、従来製品から亜鉛粒子数が 15 倍、反応面積は 6 倍となった。

これにより、財団法人 日本品質保証機構による、デジタルカメラでの使用を想定した試験において、同社の「アルカリエース」に比べて 2 倍、また従来品より約 20%長持ちするという。

リモコンなどの軽負荷、フラッシュメモリープレーヤーやポータブル MD といった中負荷領域の機器ではもちろんのこと、「MICROZINC」の働きによりデジタルカメラなどの超重負荷領域とされる機器において特に威力を発揮するとしている。

パッケージは、2/4 本入りリブスターパックおよび 4/8/12/20 本入りシュリンクパックが用意される。使用推奨期限は 2 年。価格はオープンプライス。

(2/23)

## SME、「bitmusic」などのネットサービスを統合した新会社を設立

ソニー・ミュージックエンタテインメント (SME) は、音楽/映像配信などネットワークを介したサービス提供

を行なう新会社、ソニー・ミュージックネットワークを2005年4月1日に設立すると発表した。

新会社は、SMEのホームページ「Sony Music Online Japan」やブロードバンドマガジン「MORRICH」などを運営するSMEのデジタルメディアグループの営業と、SMEの子会社であるソニー・ミュージックダイレクトが運営する音楽配信サービス「bitmusic」を手がける同社のマーケティンググループの営業を承継する。

新会社では、音楽/映像によるネットワークプロモーションや、オンライン販売、音楽配信、映像配信などのサービス提供のほか、ネットワークサービスインフラの強化/効率化を図る。

また、そこで培ったインフラをベースに、外部の企業に向けてASPサービスやファンクラブサービスなどのソリューション提供なども展開予定という。

資本金は4億8,000万円で、SMEの100%出資。代表取締役には今野敏博氏が就任する。

(2/22)

## Yahoo!、「Mora」のシステムを使った有料音楽配信を開始

ヤフーとレーベルゲートは、ヤフーが展開している音楽総合サイト「Yahoo! ミュージック」において、レーベルゲートが提供している「Mora」のプラットフォームを使った有料の音楽配信サービス「Yahoo! ミュージックダウンロード」を近く開始すると発表した。

アーティストや楽曲の検索サービス、音楽関連ニュースの提供などを行なっている Yahoo! ミュージックに、音楽配信サービスを追加する。具体的には配信プラットフォームを Mora が提供。課金などの処理を Yahoo! が担当する。

なお、参加を予定しているレーベルは全 39 レーベルで、約 73,000 曲を取り扱う予定。ほぼ全ての楽曲が試聴・購入できるとしている。

(2/21)

## NTT、人体高速通信技術「レッドタクト」開発

NTTは、人の体を伝送経路として、携帯端末などで最大 10Mbps の通信が可能なユニキタス技術「レッドタクト」(RedTacton)を開発したと発表した。

レッドタクトは、電波や光ではなく、体の表面電界による通信技術。送信側のレッドタクトのデバイスが人の体の表面に微弱な電界を発生。人体の表面を通じてレシーバー側に到達した電界は、微弱な電界の測定を行なうセンサー「フォトニック電界センサー」によって受信、電気信号に変換される。

人体のほか、金属や水など電気信号が伝わる性質のもの(導電体)はもちろん、ガラス・壁、木材などの信号が通過してしまう素材(誘電体)でも薄ければ信号が伝わるとしており、導電体と誘電体が組み合わさった、衣服や靴、車などでも通信が行なえるという。

NTT では、今回の技術をさまざまな分野で応用できるとしており、携帯端末と街中や施設に埋め込まれたコンピュータ間での One-to-One サービス、ノートパソコンをテーブルに置くとネットアクセスできるサービス、セキュリティサービスなど、社会インフラになるような大規模な事業にしたい考え。

また、近接通信技術では、Bluetooth や RFID などがすでに提供されるが、触れるだけの通信、伝送媒体を選ばない点、10Mbps の高速通信などの点で、これらの技術に対抗できるとしている。

人体への影響については、レッドタクトの送受信電極は絶縁膜で覆われているため、外部から人の体へはまったく電流が流れない。ただし、携帯電話の電波と同様、人体は電界を間接的に受けてしまうため、人体内部に微弱な誘導電流は発生するとしながらも、この誘導電流について、レッドタクトは総務省の安全基準(RCR STD-38)をクリアしているとしている。

(2/18)

## ソニー、エニーミュージック対応 40GB HDD 内蔵オーディオシステム

ソニーは、「エニーミュージック」に対応した 40GB HDD 内蔵オーディオシステム「NET JUKE(ネットジューク) NAS-A10」を2005年3月15日に発売すると発表した。

NAS-A10 は、同社が 2004 年 5 月に発売した「NAS-A1」の後継機。CD プレーヤーと HDD、AM/FM チューナを内蔵した本体部と、ステレオスピーカーから構成されるオーディオシステムで、40GB HDD に「エニーミュージック」サービスから、音楽のダウンロードなどが行なえる。

新たに Hi-Speed USB に対応し、HDD 搭載ネットワークウォークマンなどの携帯音楽機器への転送速度を高速化。さらに内蔵のメモリスティックスロットは、「メモリスティック デュオ」をアダプタ無しで使用可能。

CD から HDD へは、最大約 8 倍速(音声モニター OFF 時)/最大約 6 倍速(音声モニター ON 時)でダビング可能。リモコンのボタンを 1 回押すだけで、CD の楽曲を全て HDD に高速で録音可能な「ワンボタン HDD 録音」機能も備える。

録音フォーマットは ATRAC3、PCM の 2 種類から選択可能で、ATRAC3 のビットレートは 132/105/66kbps に対応する。

また、HDD に Gracenote の「CDDDB」の楽曲データをあらかじめ収められているほか、最新の楽曲データもインターネット経由で取得可能。アルバム名、アーティスト名、曲名登録を自動で行なえる。

再生対応フォーマットは CD では音楽 CD のほか、MP3 に対応。メモリスティックは ATRAC3 に加え、MP3 にも対応している。

LAN 上のパソコンにストックしてある音楽ファイルも LAN 経由で「ネットジューク」で選曲し、ストリーミング再生できる「ネットワークメディア」機能も搭載。なお、PC には「DLNA」準拠のソフトウェアがインストールされている必要がある。

コンポジット出力を搭載しており、テレビと接続して画面上で操作でき、ファンクションの切り換えの高速化や、画面表示を見直すことで快適な操作性を実現している。

アンプの実用最大出力 10W×2ch(4Ω)。スピーカーは 2Way バスレフ方式で、ウーファー10cm×1とツイーター4cm×1を搭載。外形寸法は135×180×315mm(幅×奥行き×高さ)、重量約2.3kg(1台)。

本体には入出力端子として100BASE-TXを1系統、USB端子(Hi-Speed USB)1系統、アナログ音声入力1系統、アナログ音声出力1系統、ヘッドフォン端子1系統、コンポジット出力端子1系統を装備。本体の最大外形寸法は90×314×315mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約4.9kg、消費電力は40Wとなっている。

価格はオープンブライス。

(2/17)

## Windows Media Player 10の更新プログラムを公開

マイクロソフトは、Windows Media Player 10 (WMP 10)の更新プログラム「KB891122」を公開した。

WMP 10は、Windows XP 専用の最新メディアプレーヤー。マイクロソフトによると、WMP 10 に搭載されている DRM (デジタル著作権管理機能)に、「悪意のあるハッキングが可能な問題を確認した」としている。

今回の更新プログラムでは、この問題を修正したほか、ライセンス発行者がライセンスの発行・更新前に、対象となる各ユーザーの PC を確認できるようになったとしている。

マイクロソフトでは更新プログラムの公開にあわせて、WMP 10 のマイナーバージョンアップを行なった。修正後の WMP 10 のバージョンは「10.0.0.3802」となる。

(2/16)

## ケイ・オプティ、最大 1Gbps の通信環境を提供する試験サービス

ケイ・オプティコムは、自宅内までの通信速度が上下とも最大 1Gbps のインターネット接続試験サービスを、神戸市須磨区の一部エリアで 2005 年 4 月 1 日より実施すると発表した。

試験サービスは、IEEE 802.3ah に準拠した「GE-PON (Gigabit Ethernet-Passive Optical Network)」技術を採用しており、1 本の光ファイバ回線の分岐数は最大で 32 分岐。

回線終端装置までは最大 1Gbps、回線終端装置からご家庭のパソコンまでは最大 100Mbps の他社の既存サービスと比較して、ユーザー宅内の機器まで最大 1Gbps の通信速度が提供される点が異なっている。

試験サービスは、神戸市須磨区の一部エリアで 4 月 1 日から 6 月 15 日まで実施される。モニターの対象は、同社の光ファイバ接続サービス「eo ホームファイバー」を試験地域で利用中のユーザーで、募集人数は最大 100 名。試験サービスに伴う、初期費用や月額料金は無料となる。

ケイ・オプティでは、試験サービスを通じて技術検

証を行なった上で、早期にサービス化できるよう取り組みたいとしている。

(2/16)

## 富士フイルム、オーディオプレーヤーで利用できる単 4 リチウム電池

富士写真フイルムは、大容量電源として幅広く利用されている「リチウム電池」の新たなラインアップとして単 4 型のリチウム電池を 2005 年 3 月上旬より発売すると発表した。

同社が提携する米 Energizer が開発。2004 年秋より発売開始した製品で、日本国内では富士フイルムイメージングが販売する。単 3 リチウム乾電池は 2003 年より発売されているが、単 4 型の国内販売は初めてとなる。

デジタルオーディオプレーヤーやデジタルカメラでの利用を想定しており、アルカリ単 4 乾電池と比較して、デジタルオーディオプレーヤーで約 2 倍の再生時間、デジタルカメラで約 5 倍のショットが可能となる。

さらにアルカリ乾電池の約 68%の重さで、また低温でも十分なパワーを発揮するためアウトドアでの使用にも適しているとしている。

(2/16)

## Microsoft、Nokia と携帯電話向け音楽配信で提携

米 Microsoft は、携帯電話関連イベント「3GSM World Congress 2005」で、携帯電話向けの音楽配信事業で Nokia と提携すると発表した。

Microsoft と Nokia は、デジタル音楽配信事業で長期にわたる協力関係を築く。Nokia の携帯端末では、音楽コーデックとして Windows Media Audio (WMA)、著作権保護機能として Windows Media Digital Rights Management 10 (WM DRM10)、転送プロトコルとして Media Transfer Protocol (MTP) を採用する。

Microsoft は、PC 向けメディアプレーヤーソフトの「Windows Media Player」で、携帯電話関連の技術の標準化を進める業界団体「Open Mobile Alliance (OMA)」の DRM 技術をサポートするほか、WMP のプラグインで音楽コーデックの MPEG AAC をサポートする予定。

Nokia は米 Loudeye と協力し、OMA DRM と AAC を採用した携帯電話向けの音楽配信サービスを立ち上げ、キャリア向けにプラットフォームを提供する。一方 Nokia の携帯電話で WMA や MTP をサポートすることで、PC からの音楽の転送のほか、Windows Media Player を利用した配信サービスなどに対応できる。

(2/15)

## ボーダフォン、HSDPA 方式のフィールドテストを開始

ボーダフォンは、3G 携帯電話技術をベースにした高速パケット通信技術「HSDPA」方式の実験免許を取得し、フィールドテストを開始したと発表した。

HSDPA は、3G 携帯電話の技術をベースに下り最大 14.4Mbps の伝送速度を実現するパケット通信方式。

同社では、2GHz 帯を使って東京都江東区周辺でフィールドテストを実施。試験は 4 カ月ほど行なわれ、その後、実験結果を踏まえて本サービスに向けた検討に入る。商用化の目的については未定としている。

(2/14)

## GfK、HDD/シリコンオーディオの販売数量シェアが MD を超えたと発表

家電量販店 3,500 店舗を対象に、販売実績を集計している市場調査会社のジーエフケー マーケティングサービス ジャパンは、1 月の最終週において、HDD/シリコンオーディオプレーヤーの販売数量シェアが、ポータブル MD を抜いたと発表した。

同社の「ポータブルオーディオの世代交代」と題したレポートの中で、HDD/フラッシュメモリ/メモリーカードタイプのプレーヤーを総合した販売数量シェアが 2004 年後半から上昇、同 12 月の第 2 週 (12 月 6 日～12 日)にポータブル CD を、2005 年 1 月の最終週 (1 月 31 日～2 月 6 日)にポータブル MD を抜いたと報告している。

HDD/シリコンオーディオプレーヤーの販売数量シェアは 2004 年 12 月 27 日～2005 年 1 月 2 日で約 19%だったが、その後急激に上昇。2005 年 1 月 24 日～1 月 30 日には約 35%を記録し、その翌週には約 40%を占めた。



ポータブル MD はその逆の動きで、2004 年 12 月 27 日～2005 年 1 月 2 日で約 60%あった販売数量シェアが急落。2005 年 1 月 10 日～16 日には約 46%に下がり、2005 年 1 月 31 日～2 月 6 日には約 35%を記録。HDD/シリコンオーディオプレーヤーに抜かれた。

なお、HDD/シリコンオーディオプレーヤーの販売数量シェアは 2004 年 7 月の第 2 週(7 月 5 日～11 日)にポータブルカセットプレーヤーを抜き、12 月の第 2 週(12 月 6 日～12 日)にはポータブル CD を抜いている。また、金額シェアでは 2002 年 9 月にカセットステレオを抜き、2004 年 7 月第 2 週にはポータブル CD を抜いている。

(2/14)

## ルーセントとイー・アクセス、W-CDMA 実証実験

ルーセント・テクノロジーとイー・アクセスは、イー・アクセスによる移動体音声、高速データ、およびマルチメディア・サービス評価のため、第 3 世代(3G) W-CDMA 実証実験ネットワークを共同開発すると発表した。

実験は、1.7GHz 帯の W-CDMA による移動通信において、音声や高速データ通信、マルチメディア・サービスの評価を行なうという。富士通の High Speed Downlink Packet Access(HSDPA)に対応した基地局や、ルーセントの IP Multimedia Subsystem(IMS)といった IP ベースのネットワークソリューションなどが用いられる。

HSDPA をサポートした実験用携帯端末は富士通が提供し、当初から最大 3.6Mbps によるデータ通信が可能だ。フィールド・アップデートにも対応しており、最終的には 14.4Mbps まで速度を向上させることができるという。また、イー・アクセスでは携帯電話用の位置情報アプリケーションなども開発中だとしている。

(2/10)

## USEN、光ファイバサービスの取り付け総数が 1 月末で 25 万件弱に

有線ブロードネットワークス(USEN)は、2005 年 1 月 31 日現在でのブロードバンド事業の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が

前月比 19,936 増の 387,069 件、回線が開通している取付数が前月比 15,304 増の 247,006 件となった。取付数が 6 ヶ月連続で毎月 1 万件を越えて累計 24 万件を突破した。

なお、取付数の内訳では、戸建てが前月比 11 増の 8,507 件、集合住宅が前月比 14,606 増の 221,146 件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比 687 増の 17,353 件となっている。

同様に、集合住宅における 1 棟あたりの平均加入戸数は 5.42(集合住宅 7.26、法人用途のオフィス・商業ビル 1.28)、集合住宅取付棟数は前月比 1,317 増の 44,009(集合住宅 30,470、法人用途のオフィス・商業ビル 13,539)となっている。

(2/9)

## au、「着うたフル」が累計 200 万ダウンロード突破

KDDI および沖縄セルラーは、EZ「着うたフル」の累計ダウンロード数が 2005 年 2 月 5 日で 200 万曲を突破したと発表した。

EZ「着うたフル」は、2004 年 11 月 19 日より開始された携帯電話向け音楽配信サービス。楽曲 1 曲をまるごと携帯電話にダウンロードできるのが特徴で、1 月 5 日に 100 万ダウンロードを達成している。

EZ「着うたフル」対応サイト数は 10、対応曲数は約 13,000 曲。

(2/8)

## 東芝と SanDisk、70nm プロセスの 8Gbit フラッシュメモリを開発

東芝と米 SanDisk は、8Gbit の NAND 型フラッシュメモリを開発したと発表した。

8Gbit の NAND 型フラッシュメモリは、70nm プロセスルールで製造され、1 つのメモセルに 2bit データの保持を可能にする多値技術を用いて、容量の 2 倍増を実現した。

また、回路設計技術の革新によりチップ部分の効率を改善し、チップ面積を 4Gbit(90nm プロセス)世代から 5%未満の増加に抑えた 146 平方 mm とした。

速度面では、データ伝送効率の高いバーストモード採用などにより、従来製品比で 40%高速となる読

み込み 60MB/sec を達成。書き込みは、回路技術の最適化により書き込み時間を減少し、6MB/sec に対応するという。

8Gbit の NAND 型フラッシュメモリは、2005 年夏から東芝四日市工場で量産を開始する予定。

また 2006 年には、1 パッケージに 8Gbit NAND 型フラッシュメモリを 2 層にした 16Gbit NAND 型フラッシュメモリの商品化も計画している。

(2/8)

## 三洋電機、5GB HDD を搭載したボイスレコーダーを発表

三洋電機は、5GB HDD を搭載したボイスレコーダー「HDR-B5GM」を 2005 年 3 月上旬より発売すると発表した。

「HDR-B5GM」はシーゲイト製 1 インチ 5GB HDD を内蔵しており、マイク/スピーカー/マイク端子内蔵のデジタルボイスレコーダーとしては世界初としている。

内蔵マイクにより最大 693 時間のモノラル録音が可能。また、外部ステレオマイクも添付されており、173 時間のステレオ録音ができる。

音楽プレーヤーとしての機能も備えており、対応する音声圧縮方式は、MP3 と WMA。同梱されているソフト「MusicFileMaster」を使用すれば、プレイリストの作成や音楽ファイルの転送などが可能で、HDR-B5GM 側でアーティスト/アルバム/ジャンル/プレイリストによる曲検索ができる。

さらに、SD カードスロットを搭載しており、SD カードと HDD 間でファイル/フォルダ単位のコピーが可能。内蔵 HDD はマストレージクラスに対応しており、PC 上からリムーバブルディスクとして使用することもできる。

録音形式は MP3、S/N 比は 88dB。インターフェイスは USB 2.0。リモコン、USB ケーブル、キャリングポーチなどが添付される。電源はリチウムイオン電池と付属の AC アダプタ。バッテリー駆動時間は録音が 7.5 時間、再生が 8.5 時間(ともに LP モード)。

本体サイズは約 45 × 19 × 94mm(幅、奥行き × 高さ)、重量は約 93g(電池含む)。価格はオープンブライズ。

(2/4)

## 都営地下鉄線全駅で公衆無線 LAN サービスを開始

東京都交通局は、2006年3月末までに、都営地下鉄全駅構内(106 駅:ホーム・コンコース等)において、公衆無線 LAN サービスを利用できるようになると発表した。

無線 LAN アクセスポイントは、2005年3月より都営新宿線と都営浅草線の2路線 20 駅内のホームやコンコース、改札などに設置。

設置される無線 LAN アクセスポイントは、複数の通信事業者が共用できる機能を有しており、NTTBP の「無線 LAN 倶楽部」、NTT Com の「HOTSPOT」、NTT 東日本の「フレッツ・スポット」「M フレッツ・スポット併用タイプ」、NTT ドコモの「Mzone」が利用できる。

また、無線LANサービスが利用可能であることを示すエリアサインを設置される。

(2/2)

## オリコン、有料音楽配信サービスの開始日を延期

オリコンは、2005年2月8日を予定していた有料音楽配信サービス「オリコン・ミュージック・タウン」のサービス開始日を、2005年3月23日に延期すると発表した。

今回の延期は、同サービスのオープニング企画の第1弾として、2005年1月29日から1月31日までの期間限定で Kinki Kids の未発表ライブ音源をダウンロード販売した際、システムエラーが発生したのを受けてのもの。

29日の販売開始後、決算処理、楽曲のダウンロード、ライセンスの発行などが適正に行えない事態が発生。同社は29日の20時に一旦サービスを休止し、システムを改善・安定化させ、30日の12時よりサービスを再開した。

このトラブルを受けて、同社は音楽配信システムの開発・保守管理などを委託している J ストリームと、J ストリームが課金決算システムなどを委託しているビジネスネットワークテレコム の3社とシステム面の強化策を協議。

関連するシステムを含め、トータルでの検証に相当な時間がかかると判断したため、本サービスの開

始の延期を決定したという。

(2/1)

## 文科省、私的録音録画補償金適用見直しを検討

文部科学省は、文化審議会著作権分科会 法制問題小委員会において検討を進めている、著作権法の今後の課題について検討項目を公開した。

今後の課題については、私的録音録画補償金の見直しや、権利制限の見直し、私的使用目的の複製の見直し、共有著作権に係る制度の整備、著作物の「利用権」に係る制度の整備、保護期間の見直しなどを挙げ、デジタル化時代に対応した権利制限の見直し、契約/利用時の問題、司法救済などの観点について検討を進めるとしている。

特に私的録音録画補償金については、新たに HDD 内蔵型録音機などの追加指定や、現在対象となっていないパソコンの HDD、データ用 CD-R/RW などについて、実態を踏まえて検討するとしている。

また、現行の対象機器・記録媒体の政令による個別指定という方式に関しても、法技術的観点等から見直しが可能かどうかを検討する。

(1/31)

## ワーナーミュージック、CCCD を終了

ワーナーミュージック・ジャパンは、2002年より導入していたコピーコントロール CD (CCCD) の生産を終了し、2004年12月以降の新譜については全て通常の CD で発売することを明らかにした。

コピーコントロール CD 導入の背景として、2002年当時は私的複製の範囲を明らかに越える CD-R への複製行為、インターネットを通じた違法な音楽ファイル交換が蔓延していたことを指摘。

啓蒙活動につとめた結果、著作権保護に対する意識は徐々に高まり、違法行為に関しても一時的混乱期を脱したと判断。

また、ハードディスクやフラッシュメモリを記録媒体としたパソコンに親和性の高いポータブルデバイスのさらなる普及も予想されることから、コピーコントロール CD 終了に至ったとしている。

(1/28)

## ケンウッド、ポータブルデジタルオーディオプレーヤーを発表

ケンウッドは、小型/軽量のフラッシュメモリアイブの MP3/WMA プレーヤー、512MB モデル「M512A3」と 256MB モデル「M256A3」を 2005年2月下旬より発売すると発表した。

対応する音声圧縮方式は、MP3とWMA。対応ビットレートは WMA が 64~192kbps、MP3 が 32~320kbps。WMA DRM にも対応している。

周波数特性は 20Hz~20kHz、S/N 比は 90dB 以上。1 曲、/全曲リピートや、フォルダ単位、ランダムなどの特殊再生も行なえる。

本体前面にブルーLED の液晶ディスプレイを装備。片手で操作可能な「スクローラ」の採用により、モード切替や曲選択も直感的に行なえるとしている。

PC との連携は USB 2.0 経由で、USB ストレージクラスに対応する。また、FM チューナーやボイスレコード機能も搭載、FM 録音も可能となっている。

オーディオ転送には付属のソフトウェア「Kenwood Media Explorer」(Windows Me/2000/XP)が必要。Kenwood Media Explorer は、WMA/MP3 のリッピング機能も装備する。データ転送速度はデバイスへのアップロードが最大 3Mbps/ダウンロードが最大 2Mbps。

電源は単 4 アルカリ電池 1 本で、連続再生時間は 12 時間 (MP3 128kbps) / 10 時間 (WMA 64kbps) / 18 時間 (FM ラジオ)。外形寸法は 71.3 × 16.5 × 28.5mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は 27g (本体のみ) / 39g (電池含む)。

小型ながら大口径のヘッドフォンやネックストラップ、USB ケーブルなどが付属する。

ボディカラーは 512MB モデルがホワイト(-W)/ブラック(-B)/オレンジ(-D)/ブルー(-L) の 4 色、256MB モデルではホワイト(-W)/ブラック(-B) の 2 色。価格はいずれもオープンプライス。

(2/28)

## NHJ、MP3/WMA プレーヤーに大容量モデル追加

エヌイテジエイは、フラッシュメモリを内蔵したポ

ダブルオーディオプレーヤー「v@mp VP-600D」シリーズの新モデルとして、容量 256MB の「VP-625D」を 2005 年 1 月 29 日に発売すると発表した。

対応する音声圧縮方式は、MP3 と WMA。対応ビットレートは 8~320kbps (MP3) / 64~192kbps (WMA)。WMA DRM にも対応している。

128 × 32 ドットの 2 行表示対応のバックライト付き液晶ディスプレイを装備し、ID3 タグ表示も行なえる。

PC との接続は USB 1.1 を利用。ストレージクラスに対応し、USB メモリとしても利用できる。また、マイクを搭載し、ボイスレコーダーとしても利用可能。音質面では、ノーマル/ロック/ジャズ/ポップ/クラシックのイコライザ機能が利用できる。

バッテリーは単 4 アルカリ電池 1 本を使用。連続再生時間は MP3 ファイルの再生時で最大約 12 時間。外形寸法は 22 × 25 × 63mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 26g (電池除く)。

対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP、Mac OS 9.2~X。

ボディカラーはレッド、ブルー、ブラックの 3 色。価格はオープンブライズ。

(1/28)

## オンキヨー、世界初の「Hi-MD」搭載据置型 MD デッキを発表

オンキヨーは、ハイコンボシリーズ「INTEC 275」をフルモデルチェンジ。Hi-MD に対応した MD デッキなどを含んだ新モデル計 5 機種を 2005 年 3 月 9 日に発売すると発表した。

Hi-MD 対応 MD デッキ「MD-133(S)」は従来の MD ディスクで 300MB、専用メディアで 1GB の記録が可能な「Hi-MD」規格に対応した MD デッキ。据え置き型としては世界初となる対応 MD デッキ。

従来の 80 分の MD ディスクに、Hi-LP モードで約 10 時間 10 分、Hi-SP で約 2 時間 20 分の録音が可能。通常の MD デッキと同様に MDLP などもサポートするほか、リニア PCM 形式の録音にも対応する。

1GB の Hi-MD メディアを利用すれば、Hi-LP モードで約 34 時間、Hi-SP で約 7 時間 55 分の長時間録音も可能になる。

様々な録音モード時に優れた情報処理能力を発揮するという「High Speed ATRAC DSP」を搭載。さらに、D/A、A/D 変換や ATRAC フォーマットへの圧縮など、デジタル処理をすべて 24bit 化して行なう「24bit プロセッシング」も採用している。

同社は AV アンプなどに搭載を進めている独自のアナログ波形生成技術「VLSC (Vector Linear Shaping Circuitry)」回路を搭載。パルス性ノイズを含まないアナログ波形を生成するため、デジタルノイズの影響を受けないとしている。

サンプリングレートコンバータを内蔵するほか、同シリーズのアンプ「A-933」や、CD プレーヤー「C-733」と組み合わせて、デジタル録音レベルを自動設定する「DLA Link」にも対応。A-933 も操作できるシステムコントロールリモコンも付属する。

入力はアナログ音声 を 1 系統、光デジタルを 2 系統用意。出力はアナログ音声 を 1 系統備える。外形寸法は 275 × 309 × 78mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は 3.8kg。

予定希望小売価格は 63,000 円。

(1/27)

## ベンキュー、SD カードスロット搭載の 512MB MP3/WMA プレーヤー

ベンキュージャパンは、SD メモリーカードスロットを搭載したオーディオプレーヤー「Joybee130」を 2005 年 2 月中旬より発売すると発表した。

「Joybee130」は、512MB の内蔵メモリを搭載した MP3/WMA プレーヤー。SD メモリーカードスロットを装備しており、最大 1GB 容量の SD メモリーカードに対応、内蔵メモリとあわせて最大 1.5GB 容量のオーディオプレーヤーとして利用できる。

対応する音声圧縮方式は、MP3 と WMA、WAVE。WMA DRM もサポートする。対応ビットレートは MP3 が 8~320kbps、WMA が 32~192kbps。

リピート再生機能や、ロック/ポップなどの 7 つのプリセットイコライザを装備。また、音質改善技術「SRS WOW」も内蔵する。

PC からのオーディオ転送には USB 2.0 を利用。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP と Mac OS

X 10.3.3 以上。BenQ オリジナルの転送ソフト「Q-music」が付属する。

FM チューナを搭載するほか、FM 録音や内蔵マイクによるボイス録音機能も搭載している。

電源は単 4 アルカリ乾電池で、連続駆動時間は約 15 時間。外形寸法は 72.5 × 50.6 × 17.9mm、重量は約 41g (電池含む)。

ボディカラーはオレンジ、ブルー、グレーの 3 色。価格はオープンブライズ。

(1/27)

## 総務省、9 月末のブロードバンド契約者数を公表

総務省は、2004 年 9 月末現在のブロードバンド契約者数等の推移を発表した。2004 年 9 月末の FTTH、DSL、CATV を合計したブロードバンドの契約者数は 17,631,379 契約。

インターネット接続サービスの契約者数は、契約者数 5 万以上の 36 事業者の合計で 29,359,963 契約、カテゴリ別に見ると FTTH が 2,034,433 契約と 200 万を越え、DSL が 12,803,883 契約、CATV が 2,793,063 契約となっている。

今回から新たに FWA や公衆無線 LAN サービスの契約者数も公開された。FWA は 2004 年 9 月末で 27,697 契約、公衆無線 LAN サービスが 74,128 契約となっている。

なお、前回からこの数値は、改正電気通信事業報告規則の規定により、電気通信事業者からサービスの契約者数について四半期ごとに報告を受けることを踏まえて、毎四半期ごとに取りまとめた結果を発表するもの。

(1/26)

## オリコン DD、有料音楽配信サービスを発表

オリコン・デジタル・ディストリビューション (オリコン DD) は、有料音楽配信サービス「オリコン・ミュージック・タウン」を 2005 年 2 月 8 日に開始すると発表した。

同サービスの開始を記念し、ジャニーズ・エンタテイメントと協力し、KinKi Kids と NEWS の未発表ライブ

音源を、2005年1月29日から期間限定で有料配信する。各アーティスト2曲ずつの販売で、計4曲。

配信期間は、Kinki Kidsが1月29日12時から1月31日24時まで、NEWSが2月1日12時から2月3日24時までで価格は1曲315円。

ファイル形式は WMA、DRM は Windows Media Rights Management (WDRM) を採用。WMA DRM 対応ポータブルプレーヤーに、1 回だけ転送が行なえる。

オリコンは2004年10月に、有料音楽配信を目的とした100%子会社、オリコン・デジタル・ディストリビューション(オリコンDD)を設立。同12月に音楽配信の試験サービスを開始し、2005年1月に正式サービスを実施するとしていた。

(1/26)

## サン電子、BiBio JukeBox の基本仕様を変更

サン電子は、2004年11月16日に発表した Network Music HDD Recorder(ネットワーク・ミュージック・ハードディスク・レコーダー)「BiBio JukeBox」(ビデオ・ジュークボックス)の基本仕様と発売予定日の変更を発表した。

変更になる基本仕様は、HDD容量が20GBから40GB、MP3/WMA再生時のS/N比が80dBから90dBとなった。

また、光デジタル入力でのMP3録音ファイルは、他の機器では再生できないとしていたものを、本体前面のUSBポートに接続したUSB機器へは暗号化を解除したMP3ファイルとして移動できる(移動したMP3ファイルはJukeBoxのHDDから消去)と変更された。

なお、これら仕様の変更に伴い発売予定日を2005年3月に変更している。

(1/26)

## パーテックス、大型液晶搭載のシリコンオーディオプレーヤー発表

パーテックスは、iAUDIOブランドのシリコンオーディオプレーヤー「iAUDIO 5」を2005年2月1日より出荷すると発表した。

「iAUDIO 5」は、2004年2月に発売された「iAUDIO 4」の後継機種となるオーディオプレーヤー。256MB、512MB、1GBの3モデルが用意され、価格は全てオープンブライス。

対応する音声圧縮方式は、MP3/WMA/OGG Vorbis/ASF/WAV。WMA DRMもサポートする。対応ビットレートはMP3が8~320kbps、WMAが20~192kbps。BBEやMach3Bass、MP3Enhanceなどの高音質化機能も搭載する。

本体でプレイリスト作成/削除が行なえる「ダイナミックプレイリスト」も装備する。ライン入力も搭載し、単体でのMP3エンコードも可能となっている。また、FMチューナーを装備し、MP3形式でのFM録音にも対応する。

4行表示に対応した、128×64ドットの液晶ディスプレイを搭載。バックライトは1,000色から選択でき、「MP3モードではブルー、FMモードではライトグリーン」といったカスタマイズが可能。

ID3Tagやファイル名の表示にも対応し、日本語を含む各国語4万字以上のフォントを内蔵する。

バッテリーは単4アルカリ電池で、最高20時間の連続再生が可能。外形寸法は35×18×76.8mm(幅×奥行き×高さ)、重量は28g(本体のみ)。ソフトウェアはファイル変換/転送ソフト「JetShell」がバンドルされる。

対応OSはWindows 98 SE/Me/2000/XP。またMac OS X以降でのデータ転送も可能。

ボディカラーは256MBモデルがルビーレッド、512MBモデルがブルーバース、1GBモデルがプラチナブラック。イヤホンやキャリングケース、USBケーブル、ネットストラップなどが付属する。

(1/26)

## ケンウッド、カーオーディオ用の iPod アダプタを発表

ケンウッドは、iPodに対応したカーオーディオ用インターフェイスユニット「KCA-iP500」を2005年3月下旬より発売すると発表した。

KCA-iP500は、ケンウッドのカーオーディオ製品で、iPodの再生や操作、タイトル表示などを可能にするインターフェイスユニット。

iPodのプレイリスト/アーティスト/アルバム/ジャンルといった検索メニューを利用可能で日本語表示にも対応。

また、専用ケーブルにより接続するため、FMトランスミッターなどを利用したiPod用再生システムより高音質で楽しむことができるとしている。

対応するカーオーディオ製品は、同時発表の「L707」、「L707MD」のほか、2003年以降に発売されたチェンジャーコントロールバスを搭載したモデル。対応するiPodは第3/4世代iPodとiPod mini/iPod photo。

SRS WOW DIGITALやサウンドマネージメント技術などのサウンドエフェクト機能も搭載。また、小型のハイダウエイユニットにより、iPodの置き場所を問わずに利用できるほか、コネクタ接続時にはiPodで音楽を再生しながら充電もできる。

外形寸法は80×23×50mm(幅×奥行き×高さ)、重量は約360g。

(1/25)

## アップル、iPod shuffle 用の AAC ファイルは iTunes で作成するよう推奨

アップルコンピュータは、フラッシュオーディオプレーヤー「iPod shuffle」について、iTunes以外のソフトウェアで作成したAACファイルが再生できないことを明らかにした。

同社ホームページでは、「iTunes以外の他社製アプリケーションを使用してAACフォーマット(.M4A)にエンコードされた曲をiPod shuffleで再生しようとする、iPod shuffleがその曲を再生せずに次の曲へスキップすることがある」としている。

そのためiPod shuffleで利用するAACファイルについては必ずiTunesで作成するよう呼びかけている。

なお、iTunes Music Storeで購入した楽曲(.M4P/.M4B)については、問題なく再生できる。

(1/25)

## 米 Apple、iTune Music Store のダウンロード曲が 2 億 5,000 万超

米 Apple Computer は、音楽配信サービス「iTunes Music Store (iTMS)」の販売曲数が2億



5,000 万曲を突破したと発表した。

iTMS は 2003 年 5 月にサービス開始し、現在は米国、カナダ、EU の対象地域の 15 カ国で展開。現在毎日約 125 万曲を販売している。

(1/25)

## ドコモ、音楽再生機能搭載ムーバ端末「premini-II」を発表

NTT ドコモは、音楽再生機能を搭載したムーバ端末「premini-II」を開発したと発表した。

「premini-II」は、2004 年 7 月の「premini」、同 11 月の「premini-S」に続く、premini シリーズ第 3 弾となるソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ製の i モード端末。

音楽再生機能を搭載し、メモリースティック Duo スロットに保存された音楽ファイルが再生可能。本体に内蔵スピーカーのほか、イヤホンマイク端子を利用してヘッドフォンなどで音楽を楽しめる。

音楽を聴きながら i モードやメール作成なども可能。音楽ファイルは ATRAC3 形式のみに対応する。

有効画素数 130 万画素、記録画素数 123 万画素の CCD カメラを搭載し、1.9 インチ、解像度は 240 × 320 ドット (QVGA)、262,144 色表示が可能な全透過型 TFT 液晶を装備する。

大きさは 105 × 46 × 19.4mm (縦 × 横 × 厚) で、重さが約 97g。連続待受時間は 460 時間で、連続通話時間は約 140 分。ボディカラーは Black、Silver、Brown の 3 色がラインナップされる。

(1/24)

## ソニー、アイワブランドのメモリプレーヤーに大容量モデル追加

ソニーは、ATRAC3plus/ATRAC3/MP3 の再生に対応した、アイワブランドのフラッシュメモリプレーヤー「XDM」シリーズに、512MB モデルと 1GB モデルを追加すると発表した。

ラインナップは 512MB 容量の「XDM-S900」、1GB 容量の「XDM-S990」。カラーリングは 1GB モデルがブラック、512MB モデルがシルバー。

主な仕様は 2004 年 12 月に発売された 128MB

モデル (XDM-S500)、256MB モデル (XDM-S700) と同じで、ATRAC3plus、ATRAC3、MP3 の 3 種類のフォーマットの再生に対応。

PC との接続は USB 1.1 を使用。内蔵メモリに転送ソフト「MP3 File Manager」を内蔵しており、PC と接続すると、自動的にアプリケーションが起動。MP3 File Manager のウィンドウに MP3 ファイルをドラッグ&ドロップすることで転送が行なえる。

また、ATRAC3plus と ATRAC3 フォーマットの作成・転送には、バンドルソフト「SonicStage Ver.2.3」を使用する。

電源には単 3 電池 1 本を使用。アルカリ電池使用して ATRAC3 66kbps 再生時で最長約 100 時間、ATRAC3plus の 48kbps で約 90 時間、MP3 の 128kbps で約 80 時間の連続使用が可能。FM チューナーも内蔵しており、放送の受信は約 40 時間行なえる。

本体ボディにはアルミニウムを採用。外形寸法は約 88.6 × 24.6 × 24.3mm (幅 × 奥行き × 高さ)、重量は約 37g (電池込みで約 60g) となっている。

発売時期は、512MB モデルが 2 月 10 日、1GB モデルが 2 月 21 日。価格はいずれもオープン。

(1/21)

## Western Digital、6GB/1 インチ HDD を発表

Western Digital は 1 インチ HDD 市場に参入、6GB 容量の 1 インチ HDD を 2005 年第 2 四半期より市場に投入すると発表した。

同社が発売を予定している 1 インチ HDD は容量が最大 6GB、回転数 3,600rpm、インターフェイスは CF Type2 で、独自のスキップ防止技術によりオーディオ/ビデオ再生時の音飛びなどを低減するとともに、低消費電力化を図っている。

オーディオプレーヤーや、PDA、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラなどでの採用を期待しているとして

(1/20)

## au、音楽再生機能搭載 WIN 端末「W31SA」を発表

KDDI と沖縄セルラーは、音楽再生機能を搭載した CDMA 1X WIN 対応の「W31SA」を 2005 年 2 月下旬より発売すると発表した。

「W31SA」は、新サービスの「着 Flash」や SD-Audio に対応した三洋電機製の CDMA 1X WIN 端末。

音楽 CD から miniSD カードにコピー記録した音楽が聴けるようになっており、規格としては SD-Audio に対応している。

利用する場合は、別途パソコン向けソフト「SD-Jukebox」(松下電器製)と、「セキュア対応 (著作権保護機能)」のリーダーライターを用意する必要がある。

スライド式のボディを採用し、ディスプレイは約 2.2 インチ、240 × 320 ドット、26 万色表示の TFT カラー液晶を装備。データフォルダ容量は約 40MB、256MB までの miniSD カードに対応する。

連続通話時間は約 220 分、連続待受時間は約 280 時間。大きさは約 49 × 98 × 23mm で、重さが約 117g。

ボディカラーは、クールミント、スティルホワイト、ソウルレッドの 3 色。価格はオープン。

(1/20)

## 松下、Philips、Samsung、ソニーなど、家電向け DRM を共同策定へ

米 Intertrust、松下電器産業、Royal Philips Electronics、Samsung Electronics、ソニーの 5 社は、家電向けのデジタル著作権管理 (DRM) の共通仕様を策定する「Marlin Joint Development Association (Marlin JDA)」を設立したと発表した。

Marlin JDA では、DRM の基本的な仕様を策定し、それらをもとにツールキットを作成。各家電メーカーがその仕様を元に独自の機能の追加などが行なえ、インターネットや放送、モバイル機器などのさまざまなコンテンツ配信に対応した実装が可能という。

回線に接続する専用チューナーを利用し、IP マルチキャスト技術を使って送信された放送を受信。チューナーをオーディオシステムなどと接続することで、PC を

使わずに音楽放送が楽しめる。業務用利用では、飲食店や小売店などでの店内BGMとしての利用を想定している。

現在では、さまざまな排他的な DRM が配信形式ごとに用意されているが、Marlin を搭載したデバイス間では、ブロードバンドや放送などのコンテンツ配信方法の違いなどを問わずに DRM 互換性を維持できるとしている。

Marlin JDA では 2005 年夏には規格策定を終える見込み。また、ライセンスプログラムや、互換性テストについても Marlin JDA が担当する。

今回の Marlin JDA の設立メンバーは、2004 年 10 月に発表された DRM 互換を目指したコンソーシアム「Coral Consortium」の設立メンバーでもあるが、Marlin の DRM 仕様は Coral の DRM 仕様とも完全互換となるという。

(1/20)

## パイオニア、iPod と連携可能なカーオーディオ発表

パイオニアは、iPod との連携機能「iPod リンク」を備えた「カロツェリア」ブランドのカーオーディオ新モデル 12 機種を 2005 年 2 月上旬より順次発売すると発表した。

iPod アダプタ「CD-IB10」は、同社のメインユニットに採用されている拡張インターフェイス「IP-BUS」と iPod を接続するためのアダプタ。iPod を接続することで、メインユニットから選曲や再生範囲の設定など、iPod の基本操作が行なえるようになる。

トラックタイトルやアーティスト名をメインユニットのディスプレイに表示することもできる。接続はクレードル端子を使用。別途音声ケーブルなどを接続する必要はない。

同社はこの連携機能を「iPod リンク」と呼んでおり、メインユニットの新モデル 9 機種はいずれも対応している。アダプタの外寸寸法は 95 × 91 × 25mm (幅 × 奥行き × 高さ)。重量は 320g。

(1/20)

## Rio、MP3/WMA プレーヤー「SiGN」に不具合で無償交換を実施

Rio Japan は、2004 年 12 月 27 日から発売した

AVC Technology 製のフラッシュメモリ内蔵型オーディオプレーヤー「SiGN (サイン) Si-200C」の一部に、バッテリーの充電ができない製品があり、対策として正常品との無償交換を実施すると発表した。

具体的な症状は、AC アダプタで充電した際、Si-200C の本体の電源が落ちて、動作不能になるというもの。内蔵充電電池の不具合が原因で、同社では製造過程において不具合部品が混入してしまったことによるものとしている。

該当製品を所有しているユーザーは、同社のページから交換依頼用フォームの PDF、または Word ファイルをダウンロードし、同フォームをプリントアウトしたものを不具合品に添付。下記の住所まで着払いで送付する。

交換開始時期は 2005 年 2 月中旬を予定している。

(1/19)

EMD Magazine 第 41 号

発行 2005 年 7 月 18 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダーズ